



Hino Advancement Center Newsletter

# 日野振興センターだより

平成30年9月発行 no.22

## menu

- ・特集 伯耆国「大山開山1300年祭」秋の楽しいイベントが盛り沢山!!
- ・豊かな森林を守り・育て・活用するために ～森林を管理するための新しい仕組み～
- ・日野郡における養蜂振興に向けた新たな取組 ～日野郡みつばちネットワーク協議会～
- ・日野郡で輝く人「おしゃべりカフェ」
- ・ツキノワグマの出没に注意!!
- ・皆さんは動物を餌付けていませんか？



# 秋の楽しいイベントが盛り沢山!!

名峰「大山」が開山されて1300年目の今年、大山山麓や日野郡周辺では賑わいを創出する様々な取り組みが行われています。この秋はいよいよ1300年祭のクライマックス! 地域の魅力を体感できる楽しいイベントをご紹介します。

1300年祭の集大成!! クライマックスイベント!

## 大山ワンダーフォーラム

食の祭典「農と食のフェスタ in せいぶ」と一体的に開催し、大山山麓の豊かな食の恵みや大山の多様な魅力一度に体験・堪能できる「大山ブランドフェスティバル」、「星」のフェスタ in 米子、「『大山を詠む!』俳句コンテスト」、「大山ワンダーとっとりスタイルエコツーリズム講演会」など、たくさんのイベントを行います。皆様、是非、ご家族と一緒に会場までお越しください。

### 日野郡ゆかりの一押しイベント!! 日本の鉄文化・たたら歴史フォーラム

日時 10月21日(日) 9:30~16:00

会場 米子市公会堂 (米子市角盤町2-61)

- 参加には事前申し込みが必要になりますので、詳細はホームページ等でご確認ください。
- ご来場にあたり、米子港臨時駐車場・米子駅前・米子市公会堂間を運行する無料シャトルバスをご利用ください。

午前の部 「全国たたらサミット」  
9:30~12:15

- ◎取組事例発表 伯耆国たたら顕彰会ほか たたら製鉄の盛んな地域の5団体
- ◎提言〈たたらトーク〉 テーマ「たたらで日本の歴史をひもとく(仮)」

午後の部 「大山山麓の歴史・刀剣シンポジウム」  
13:15~15:40

- ◆基調講演/講師 井沢 元彦 氏(作家)
- ◆クロストーク/高橋 英樹 氏(俳優) × 井沢 元彦 氏



### まだまだある 会場での関連イベント

よなごグランマルシェ、神楽上演(日南神楽神光社)、居合道演武(米子真武館)、大山賛歌(ゴスペルオーブ)、ミニたたら操業(砂鉄投入体験)、「あなたの記念刀」(ペーパーナイフ)づくり体験、都合山たたら遺跡AR体験、伯耆国「大山開山1300年祭」記念刀展示など



## これから日野郡内で開催される大山開山1300年祭イベントの紹介

### 奥大山古道ウォーク 江府



ウォーキングを通じて、後醍醐天皇ゆかりの味覚(団子汁の振る舞い)、日本の原風景「御機の茅葺小屋」、伝統の下蚊屋荒神神楽など奥大山の魅力を一度に味わえるイベント。

開催日: 11月10日(土)  
会場: 奥大山エリア (鍵掛峠、御机、下蚊屋)

### 奥日野たたら製鉄体験イベント「第5回平成のふいご祭り」 日野



ミニたたら操業(砂鉄投入体験等)や鍛冶屋体験のほか、「たたら電子紙芝居」上映やたたら講座など、奥日野のたたら文化の魅力に触れるイベントです。

開催日: 11月4日(日)  
会場: 日野町役場前広場

### 名刀展 日南

～森井父子三人の仕事～

米子市出身の刀剣研師・鞘師の森井親子3人の刀職人の技を紹介する展示会を開催。日本刀の鑑賞と手入れの仕方講座(11/11)や旧木下家における刀剣の歴史講座(11/18)も開催。

短刀 銘(表) 宮入行平作 (裏) 昭和五十年秋 長さ26.5センチ 日南町美術館所蔵

開催日: 11月2日(金) ~12月2日(日)  
会場: 日南町美術館



その他 日野郡の1300年祭 イベント

9月28日(金) 星空観察会in多里 (日南町)  
11月上・中旬 御机茅葺小屋・銀杏並木ライトアップ (江府町)

【問い合わせ先】伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会  
電話 0859-31-9363 公式ホームページ <http://www.daisen1300.org>

### 錦秋の大山環状道路を歩こう

## 大山紅葉満喫ウォーク開催

一般車両の通行を規制し、4コースのウォーキングイベントが開催されます。

10月27日(土)

※強風、大雨、雷等の悪天候の場合は中止します。  
※詳細はホームページで随時更新します。



無料駐車場があります(約1200台)

- 無料
- ・大山寺(650台)
- ・樹水高原(150台)
- ・奥大山スキー場(400台)

無料シャトルバスが運行されます

無料バス 右図の紫色の区間を30分間隔で運行予定です。

この他にも多彩なイベントが催されます。ホームページ等でチェックしてGO!

### 通行規制のお知らせ

時間: 午前7時~午後2時  
区間: 樹水高原~奥大山スキー場(7.5km)  
対象車両: 自動車、オートバイ及び自転車

※規制区間内では事前許可車両のウォーキングツアー送迎車以外の通行は認められません。ご理解くださるようお願いいたします。



【同時開催】 第9回秋の奥大山うまいもん祭り  
開催日: 10月27日(土)28日(日)  
※変更の場合あり  
午前9時30分~午後3時  
※荒天の場合中止  
場所: 奥大山スキー場

内容の詳細については、ホームページでも掲載していますのでご覧ください。  
HP <http://www.pref.tottori.lg.jp/250429.htm>  
〈問い合わせ〉日野県土整備局 (0859-72-2059) 又は米子県土整備局 (0859-31-9721) まで。

# 豊かな森林を守り・育て・活用するために

～森林を管理するための新しい仕組み～

平成31年度から森林を管理するための新しい仕組みが始まります。

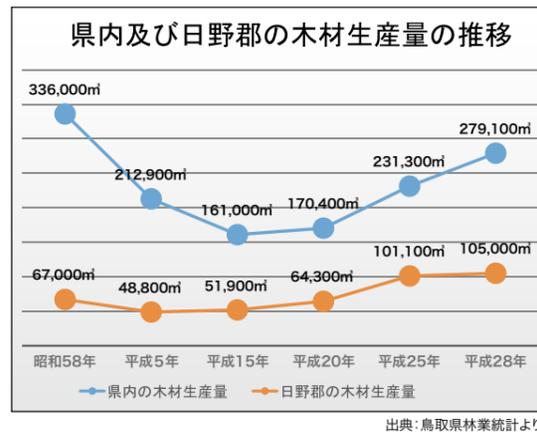
## 1 森林の大切さ

私たちは、森林に囲まれて生活しています。日野郡では森林の面積が全体の88%を占めています（日本全国では67%、鳥取県では74%）。この森林は、地球温暖化防止、国土の保全、水源のかん養、木材等の生産等の多くの機能を持ち、私たちの生活に大きな貢献をしています。



## 2 新たな木材需要

近年、日本では国産材の需要が増えつつあります。これは、合板に国産材が使われるようになったこと、木材を燃料とする発電所が建設されたことなどによるもので、境港市に合板工場、鳥取市と境港市に木質バイオマス発電所を抱える鳥取県でも同じ傾向であり、県内の木材生産量は近年増加傾向にあります。  
※県内の木材生産量のうち、約40%が日野郡から生産されています。



## 3 適切な森林管理

このような新たな木材需要に 대응するには、森林の適切な管理を進め、計画的な伐採を行うことが重要です。伐った後には植林を行い、適切な保育作業を実施していくことや、健全に木を育てるために計画的に間伐を行うといった、循環的な林業経営を行うことが、今後ますます必要となってきます。



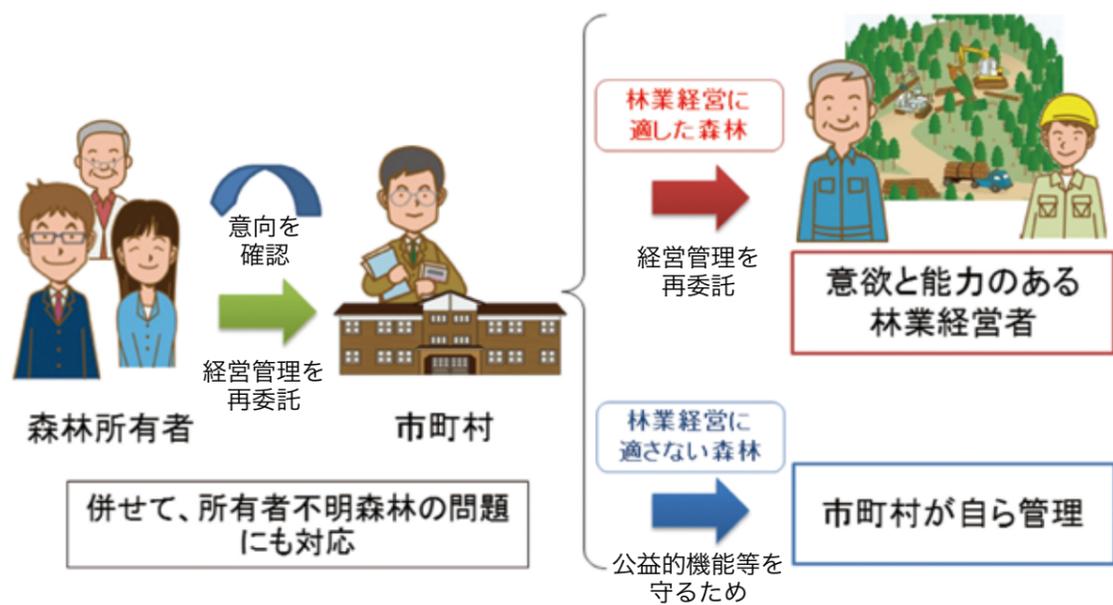
## 4 森林を管理するための課題

一方で、近年、手入れが行き届いていない森林が増えています。これは、手入れに対する森林所有者の意欲が低下したことに加え、森林所有者の世代交代等により森林への関心が薄れたことが原因であると言われています。手入れに対する意欲が低下したり森林への関心が薄れたのは、新築住宅戸数の減少や柱を隠してしまう洋室の増加などにより、無垢材（接着剤を使わない一本の原木から製材されたもの。）の利用が減少し、木材価格が低迷した時代が長く続いたことが大きな要因として考えられています。

## 5 森林を管理するための新しい仕組み

森林の適切な経営管理が行われないと、樹木やその根は細く、また林内には光が当たらず地表を覆う植物が生育できないため、災害防止や地球温暖化防止など森林の公益的機能の維持増進も十分に発揮できません。そこで、森林を管理するための課題を解決し、森林の公益的機能を維持増進するために、市町村が仲介役となり森林の適切な管理を行うことが難しい森林所有者と、森林の経営管理の担い手である林業経営者をつなぐ新たな仕組みが、平成31年度から始まることとなりました。

経営管理が行われていない森林について市町村が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐシステムを構築し担い手を探します



## 6 今後の予定

この新しい仕組みでは、森林所有者の意向を踏まえ、同意を得た上で意欲と能力のある林業経営者に管理を委ねることとなりますので、まずは森林所有者の意向を確認する作業が必要となります。今後は、各町と日野振興センターが連携しながら、新しい仕組みの具体的な進め方について検討していきたい、森林を所有する皆さんの思いにこたえつつ、森林を守り・育て・活用していく取組を進めていく予定です。



★お問合わせや相談等は、最寄りの町役場、または日野振興局農林業振興課までお願いします。

☎ 日野振興局 農林業振興課 電話0859-72-2018

## 今年で5年目を迎えた交流サロン

### 「おしゃべりカフェ」

運営責任者 西古 尚史さん（鳥取県日野郡日野町黒坂 日野町公民館内）

黒坂の「おしゃべりカフェ」は「誰でも気楽に立ち寄ることができる場所が欲しい」という地域の声を受けて、一人暮らしの高齢者の孤立を防ごうと、住民のみなさんと日野町・鳥取県の協力により平成25年6月2日にオープンしました。現在は約20名のボランティアの方が運営されています。

5周年を目前に控えた今年5月8日には来客が通算20,000人となり、最近では1日に30人から40人くらいの方が訪れています。カフェでは、数種類の豆がブレンドされたこだわりの本格コーヒーが楽しめ、そのコーヒーを飲みたくて集まって来る人も多いそうです。

ボランティアスタッフは、来られる方の健康や家族の状況に気を配り会話を交わすことで、カフェを中心に広がるコミュニティーを作り出す重要な役割を担っています。

ボランティアの確保が課題ですが、夏休みには元気な日野中学生1名がスタッフに加わりました。幅広い世代のボランティアに支えられている「おしゃべりカフェ」は、誰でも気楽に立ち寄ることができる交流の場として地域に定着しています。

問 日野振興局 地域振興課  
電話：0859-72-2086 F A X：0859-72-2072



日野町公民館で毎週火・木曜の午前10時から午後3時までオープンしています。カフェは多くのボランティアで支えられています。



丁寧にネルドリップでコーヒーを入れます。



「お待たせしました。」  
「ありがとう。」

# 日野郡における養蜂振興に向けた 新たな取組



## ～日野郡みつばちネットワーク協議会～

養蜂という営みは、まさに自然からの恩恵をいただくという行為であり、山や農地など、先人が守り、育ててきた財産があってこそ得られるものです。そのような意味で日野郡はたいへん恵まれた環境であり、近年、蜜蜂の飼育者が年々増加しています。

このような中、安定的かつ安全に蜜蜂を飼育できる環境づくりを目指し、日野郡みつばちネットワーク協議会（以下、協議会）が設立されましたので、その取組を紹介します。

### 蜜蜂の飼育状況

現在、日野郡内では、40名程度の方々が合わせて400箱以上の巣箱で養蜂を行っています。郡内の多くの飼育者がニホンミツバチを飼育していることが特徴です。（他の地域ではセイヨウミツバチを主体とした養蜂が一般的です。）

### 協議会の設立

協議会は、本年2月、4名の蜜蜂飼育者が発起人となり、設立されました。蜜蜂飼育者のほか、JA、水稲防除業者、町・県機関も加わり、会員相互の交流と連携によって、養蜂に関する情報の収集・共有、伝染病の予防と蔓延防止、農薬被ばくによる蜜蜂被害の防止、蜂蜜を使った特産物育成などの取組を進めていきます。



協議会設立総会の様子

### 現在までの取組

7月13日に開催された研修会では、蜜蜂の主要病害と対応策を学ぶとともに、無人ヘリコプター防除に携わるJA、水稲防除業者の担当者との意見交換が実施されました。また、伝染病の蔓延防止、巣箱の配置調整、クマ被害の早期把握等をねらいとして、蜜蜂の飼育情報（場所、巣箱数、連絡先等）を地図化した養蜂マップを会員相互で共有することになりました。



ニホンミツバチの巣箱を囲んで情報交換する会員

### ニホンミツバチ豆知識

- 日本固有の野生種であり、自然の中では大木の洞などに巣を作って生息。
- セイヨウミツバチよりも一回り小型。温和しく几帳面な性格。
- 市販されている蜂蜜のほとんどはセイヨウミツバチのもの。
- 蜂蜜の量はセイヨウミツバチより少なく、希少価値がある。

## ツキノワグマの出没に注意！！



日野郡内では、今年は昨年と比べて、春先からツキノワグマの目撃情報が増えています。キノコ狩りやクワリ拾い等で山林に入られる際などは、早朝や夕方以降の入山を避けるとともに、クマよけの鈴等を所持して人の存在を知らせ、ツキノワグマに出会わないようにする対策をとみましょう。ツキノワグマにとって、秋は冬眠に向けて体に脂肪を蓄えるために食べ物をたくさん食べる時期であることから、山林内に限らず柿等を求めて集落周りへ出没する場合がありますので、特に注意が必要です。



また、ツキノワグマは食べ物に対する執着心が高く、見つけた食べ物を食べつくすまでその場所に居座ると言われていますので、万が一、ツキノワグマを目撃された場合、追い払おうとする行為はとても危険ですので絶対に行わないとともに、ただちに目撃された場所の町役場に通報をお願いします。

### 【通報先】

- 日南町役場 農林課 電話：0859-82-1114
- 日野町役場 産業振興課 電話：0859-72-2101
- 江府町役場 農林産業課 電話：0859-75-6610

### 日野振興センターとして



日野郡内で飼育されているニホンミツバチ

協議会の活動を行政が支援するねらいは、養蜂振興にとどまらず、稲作をはじめとする日野郡内の大切な産業や資源を守り、それぞれの立場を理解、尊重しながら共存可能な社会を作りたいという願いからです。関係者のご理解とご協力をいただきながら、立場や意見の違いを乗り越えていきたいと思っております。どうかよろしくお願ひします。

問 日野振興局 農業振興室  
電話：0859-72-2005  
F A X：0859-72-2011

# 皆さんは動物を餌付けていませんか？

## ～放任果樹にご用心！！～

日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊 チーフ 木下 卓也

こんにちは。暑い日が続きましたが、あっという間に秋ですね。秋といえば、実りの秋！食欲の秋！とすぐに答えてしまう私ですが、これは動物も同じことです。動物にとっては、この時期にしっかり食べて脂肪を蓄えておかないと、厳しい冬を乗り越えられないという切実な問題があります。では質問です。皆さんはこの時期、動物を餌付けてはいませんか？

「動物を餌付けるわけじゃないか！」と言われますが、エサには「人が怒るエサ」と「怒らないエサ」があります。動物にとっては、農作物も木の実も「ただのエサ」であっても、農作物を食べると激しく怒られます。一方で農地周りに捨てた種イモや熟れすぎた野菜はどうでしょう。どれだけ食べても怒られませんよね。秋に実る柿や栗も同じです。

皆さんの家や農地の周りを見回してください。誰も収穫しない柿や栗の木はどのくらいありますか。誰も収穫していないはずなのに実がなくなるということは、何かがエサとして食べているかもしれません。誰も怒らないエサがこんなにあるのに「餌付けしていない」とは言いにくいですね。



写真には、たくさんの柿が実っています。どのくらいあると思いますか？ 2,300個です。1本の木にこんなになるんですね！

この柿の実1個を50gとしてみましましょう。2,300個×50g=115kg。飼育下のイノシシ1頭が1日に食べる飼料の量は平均1kgとされていますので、 $115\text{kg} \div 1\text{kg/日} = 115\text{日}$ 。

つまり、4頭のイノシシが約1カ月食べられる量が1本の柿の木に実っていることになります。あくまでも単純計算ですが、ちょっと恐ろしい数字じゃないですか？

柿や栗を食べる動物はイノシシ、カラス、タヌキ、アナグマ、サル、そしてクマです。クマの多い地域では、民家横の柿の木に登って食べつくして帰ったという話があります。動物たちにとって厳しい冬を乗り越えるのに柿や栗は大事な栄養源です。この柿や栗を動物より先に収穫する、もしくは収穫しない木は切ってしまうえば、いわば「兵糧攻め」ができるわけです。

農地や集落で動物たちが「オイシイ思い」をしないようにすることで、味を覚えさせない、おいしいものがあると思わせない、行ってみようと思わせない、「近寄せない」対策になるのです。この秋は放任果樹対策をしてみてもはどうでしょうか？

問 日野郡鳥獣被害対策協議会 電話：0859-72-1399



### 表紙写真について

タイトル：「ダム湖の朝」

撮影者：日南町 田邊 元己 氏（日南写友会）

撮影者コメント：少し朝露の立ちこめる菅沢ダムを通りかかり、珍しくダムフェンスのフロートがS字型になっているのを発見し、カメラを構えると突然大きな音がし水面を見ると水鳥が飛び立とうとしていたので急いでシャッターを切りました。

朝から良いシャッターチャンスに恵まれてうれしい気分で一日過ごすことが出来ました。

